

町長あいさつ

「人生100年時代」を元気で活躍

精華町長 杉浦 正省

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで健康やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は、町行政の推進に、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、やはりロシアによるウクライナ侵攻を抜きには語れません。この戦争を食い止めることができなかつた国際社会の限界も痛感しました。年の初めに世界の平和を願わずにはられません。

また、一昨年前、先の見えない中で始まった新型コロナウイルス感染症でしたが、何度も押し寄せる感染拡大の波に洗われながらも、昨年私たちは「ウィズコロナ」という言葉にたどり着き、社会経済活動との両立をなんとか図っていく術を模索した一年でした。こうしたなか、前田理事長をはじめ、役職員と会員の皆さまにおかれましては、感染防止対策を講じ、就業事業、普及啓発活動、地域活動、文化教養活動などの各種事業に取り組んでおられますことに、深く敬意を表すところでございます。

さて、精華町でも高齢化が加速しておりますが、「高齢者が元気に活躍できる社会」を目指し、高齢者の方々には、健康を保ち、地域社会の支え手として、また、まちづくりの主人公としてご活躍いただきたいと願っております。その舞台のひとつであるシルバー人材センターの果たされる役割はますます重要になるものと、大きな期待を寄せておりまして、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援してまいりたいと考えております。



結びに、長期化するコロナ禍の影響など、厳しい社会環境の中ではありますが、会員の皆さまにおかれましては、健康に十分に気を付けていただき、「人生100年時代」を元気でいきいき活躍していただくために、諸事業のさらなる充実をめざしていただくとともに、公益社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご隆盛を衷心よりご祈念申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。

理事会等のうごき

令和4年度 第4回理事会 令和4年12月16日（金）

第19号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター職員給与規程の一部改正について
上記議案を可決しました。



表紙写真のひとこと

朝靄（あさもや）がかかっているのは、けいはんな記念公園水景園の「永谷池」のところです。地元では「ながたん」と呼んでおられる池です。池畔には周遊路がありゆっくり散策が楽しめます。公園の開発がスタートした後に希少なオオタカの巣があることがわかったため、オオタカの棲む自然林を丸ごと取り入れて開発することとなり、当初は10ヘクタールの広さの計画でしたが最終的には24.1ヘクタール（甲子園球場で6個分）の広大な敷地を有する公園になりました。

公園での冬の楽しみにバードウォッチングがあります。池ではマガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キンクロハジロ、オオバン、運が良ければオシドリが見られるかも…。周辺の森では、アオジ、イカル、エナガ、カワセミ、カワラヒワ、コゲラ、ジョウビタキ、ツグミ、ホオジロ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキ、シジュウカラ等がよく見られます。自然林を丸ごと取り入れて開発された公園は、春夏秋冬それぞれの季節を楽しむことが出来る場所です。

撮影場所：精華町精華台5丁目 撮影日：2022/11/9